

「新たな視点からの「教科の内容と指導法」の 融合に向けた調査研究・開発」

調査の概要

◆課題認識

- ・新しい教育職員免許法や同施行規則のもとで、教職課程に「教科及び教科の指導法に関する科目」が新設される。
- ・「教科及び教科の指導法に関する科目」にふさわしい「教科及び教科の指導法に関する科目」における複数の事項を合わせた内容に係る科目」のあり方を研究開発する必要性がある。

◆調査研究の目的

- ・教科の専門的事項と指導法に係る内容を融合（複合）した科目の設置状況を調査すること。
- ・新免許法の趣旨にふさわしい、教科の専門的事項と指導法に係る内容を融合（複合）した科目を研究開発し、そのシラバスを作成・提示すること。

◆調査研究の方法

- ・小学校教諭の教職課程を設置している全国の大学を対象にアンケートによる実態調査
- ・先進的に融合（複合）した科目を設置して教員養成に取り組んでいる大学への訪問調査

取組のポイント・成果

◆取組のポイント

①アンケート調査を踏まえて

- ・いくつかの大学で、教科の専門的事項と指導法とを融合（複合）した科目を実施していたが少数にとどまっていた。⇒教職課程設置大学の多くが取り組みやすい科目開発の必要性

②先進的に取り組んでいる大学への訪問調査

- ・教科専門科学の立場から教科内容の構成を分析し、その成果に基づいて、従来の「教科に関する科目」に相当する科目が開発された例が見られた。
- ・教科の指導法に関する科目と、専門的事項に関する科目の履修順序と内容の関連性に配慮することで、実質的に融合（複合）がなされていた例が見られた。

③シラバスの開発

- ・アンケート調査や訪問調査の結果を踏まえ、国語、社会（地理歴史）、算数（数学）、理科、技術等の教科で実現可能性の高い授業内容を開発し、シラバスを作成した。

◆成果

- ・教科の専門的事項と指導法とを融合（複合）した科目の実施状況と、先進大学の取り組み内容を明らかにすることができた。
- ・実現可能性の高い、融合（複合）科目のシラバスを作成することができた。

今後の課題

◆研究開発した授業科目の実施・改善

- ・研究開発した授業科目を実際に行い、学生への教育効果を測定しながら、改善を進める。
- ・融合（複合）科目を柱とする教員養成カリキュラムの研究開発を進めていく。